

発行/
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円



むぎまき
画・加納忠

災害の時代：正しく恐れて正しく備える

第47回 公害・環境デー 開く

「第47回公害・環境デー」が1月27日(日)、大阪市内で開催され、午前の3つの分科会と午後の全体会に約150名の方々が参加されました。

午後の全体会では金谷実行委員長の開会挨拶に続いて、室崎益輝氏(兵庫県立大学)から、「災害の時代：正しく恐れて正しく備える」をテーマとして特別講演が行われました(次頁参照)。

続いて被害者・訴訟支援で、原発賠償関西訴訟の森松明希子氏は、国連人権理事会で子どもの人権救済を訴えたことの報告。関西建設アスベスト訴訟の原告と弁護士、

ノーモアミナマタ近畿二次訴訟の原告から、それぞれ訴訟支援の訴え。公害患者の会からは、未認定患者へも医療費等補助の運動支援と、神戸製鋼石炭火力発電所への訴訟支援が訴えられました。

各分野の報告では、高速道路・地下河川大深度トンネル問題、アスベスト汚染問題、カジノ・夢洲開発問題、COP24、大阪のエネルギー政策提言などの報告が行われました。

会場討論のあと、藤永副実行委員長がまとめ報告、最後に「府民へのアピール」を採択して閉会しました。

午前は、第1分科会「大型開発ではなく、安全安心な大阪へ」で「台風21号の猛威で関西空港ダウン」(岩本智之・日本科学者会議大阪支部代表幹事)、「カジノ万博



全体会

その発想 大阪湾岸・夢洲開発を振り返りベイエリア開発の後始末？」(桜田照雄・阪南大学教授)の報告を受け、第2分科会では「被害・罹災の現場から見たもの…大地震・巨大台風・集中豪雨に備え、安全な防災まちづくりへ 大阪府の防災対策の現状と課題」(有田洋明・府職労委員長)、第3分科会では「組織・企業が災害に備える(BCPとは)」(田端志郎・耳原総合病院副病院長)の報告を受けて、それぞれ討論を深めました。

全体会会場横では朝日新聞社の「平成30年夏・自然災害報道写真」展示も並行して行われました。参加者からは、「原告の方の訴えに心が痛んだ。」「交流することが大切」などの声がよせられました。

報道写真展示



—各団体からの訴え—



原発賠償関西訴訟団



アスベスト公害訴訟団



ノーモアミナマタ訴訟団



公害患者会